




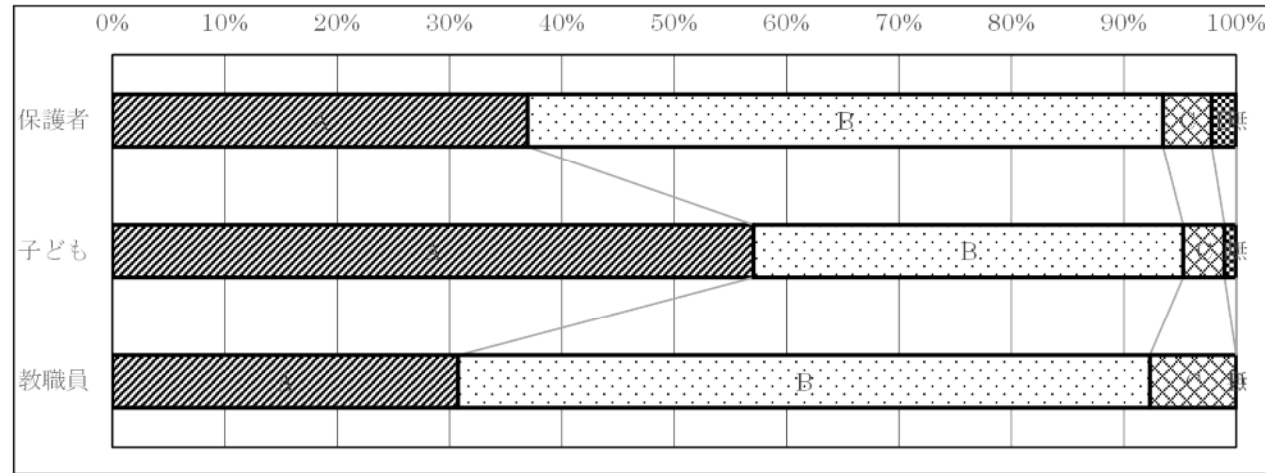




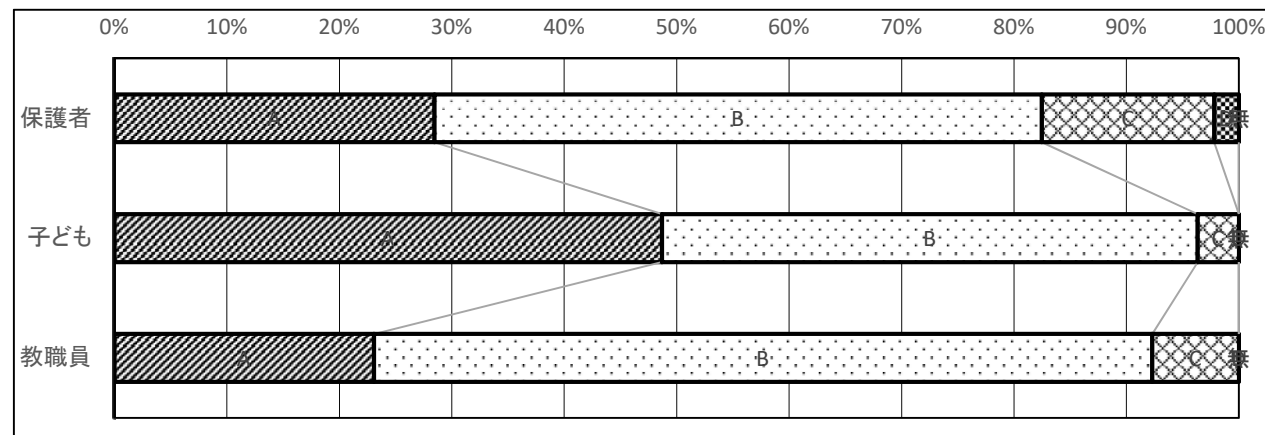
A=できている 
 B=どちらかといえばできている 
 C=どちらかといえばできていない 
 D=できていない 
 無=無答 

- ① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。
 (保護者)
 毎日の授業はよくわかる。(児童)
 教材研究・教材作成に努め、一人一人に
 分かる授業を工夫している。(教職員)



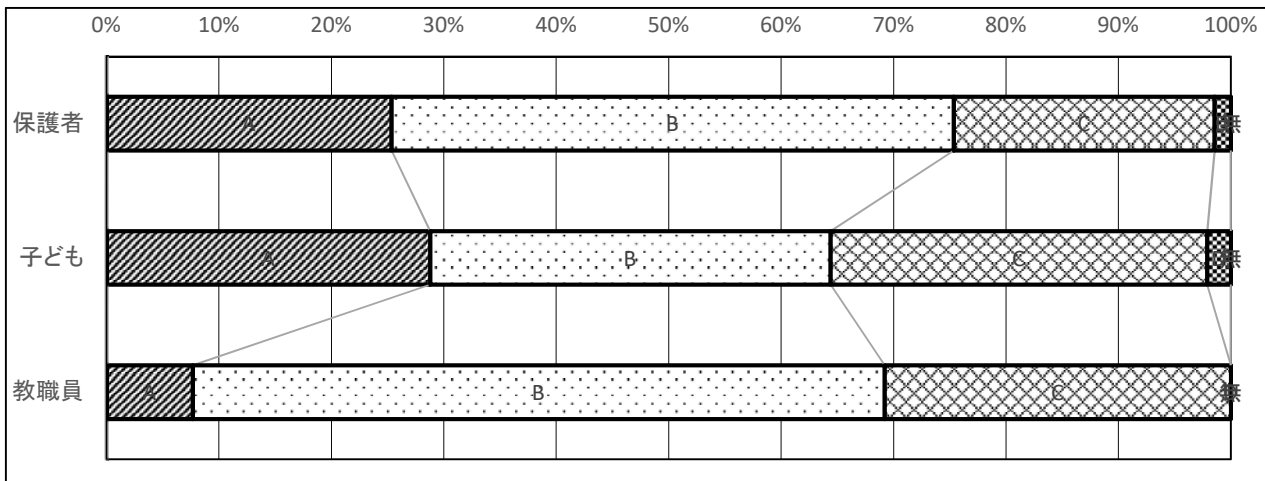
昨年の前期と比べて、児童と教職員の数値はほぼ変わりません。そんな中、保護者の数値が上がっています。それだけ昨年の臨時休校や分散登校等が、子どもの学力にどう影響するのか、不安に思っておられた方が多かったのだと思います。ただ、そんな中であっても、例えば今年5月に実施された全国学力・学習状況調査において6年生が良好な結果を収めるなど、どの学年の子どももよく努力していました。
 今年度はその力をさらに伸ばすべく、授業におけるICT機器の積極的な活用を全学年で進めています。

- ② 子どもは人の話をしっかり聞いている。
 (保護者)
 授業中人, の話をしっかり聞いている。
 (児童)
 子どもたちはしっかり話を聞き、
 意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



昨年の前期と比べて、児童と教職員の評価が上がっています。子どもたちは、コロナ禍での環境にも慣れ、落ち着いて学習している様子がうかがえます。相手の話をしっかり聞くということは、相手を尊重する人権意識にもつながります。「聴く力」は学習の基礎となる力なので、後期の学習で引き続きしっかりと身に付けていけるようにしていきたいと思います。

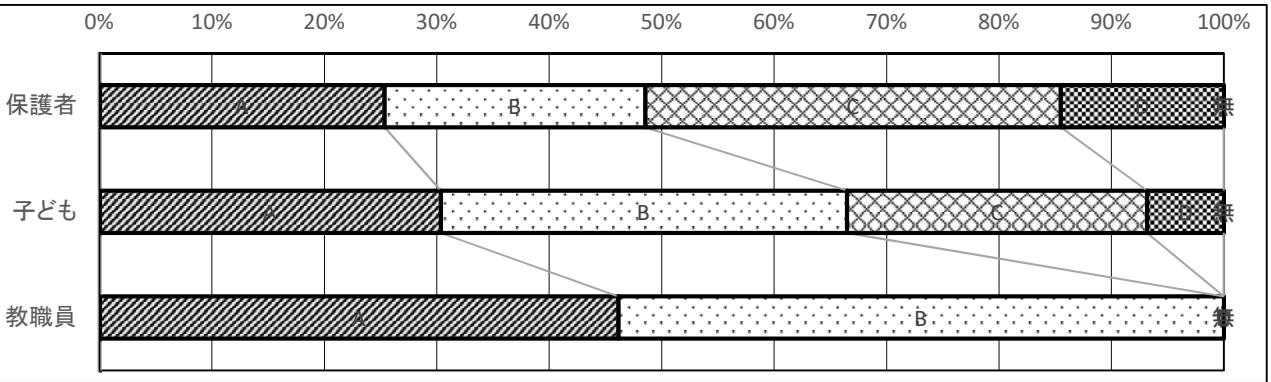
- ③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している。
 (保護者)
 自分の思ったことや考えたことを発表している。
 (児童)
 子どもたちは相手に伝わるように自分の考えや思いを発表できている。(教職員)



昨年の前期と比べて、全体的にあまり変わっていませんが、AB合わせて70%前後と低い評価です。一つには、授業展開の問題があります。飛沫の関係で、話し合い活動に制限があります。また、マスク越しなので、表情がとらえにくく、会話が弾みにくい面があります。
 自分の意見や思いをみんなに話すためには、安心して話せる学級の雰囲気と、自分に自信が持てることが大切です。引き続き、子どもに寄り添う学級経営と子ども自身が自己肯定感を感じることができるよう取組を進めていきます。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。
(保護者)
家でも読書している。(児童)

おはよう読書や本かばんの活用，毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で，子どもたちは進んで本を読むようになっている。(教職員)

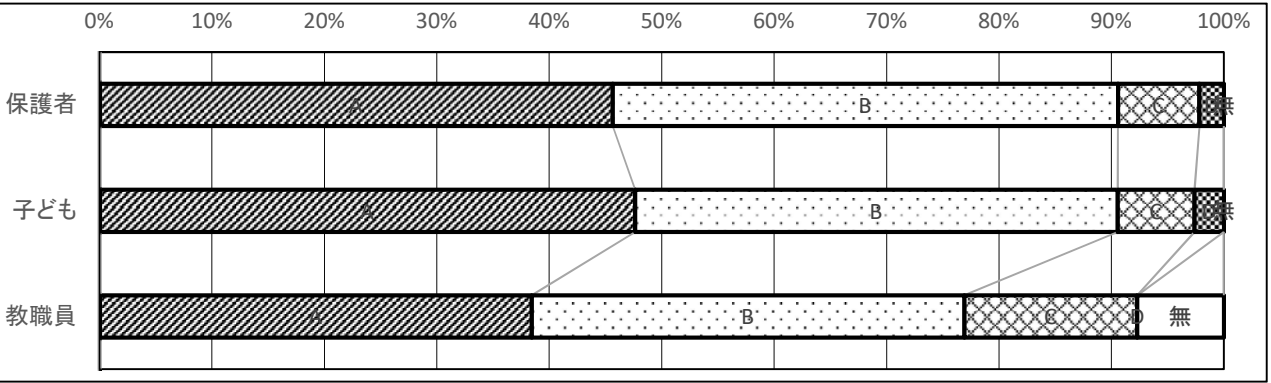


昨年と比べて，児童と教職員の評価が上がっています。外出しにくい状況下で，読書に取り組みやすいということもあります。ただ，SNS やゲームなど，映像や画像を見ることが主流になってきています。そんな中，読書は思考力，想像力，発想力を培う上で，とても大切な営みです。学校でも，図書館利用やお話玉手箱などの取組を進めています。ご家庭でも，子どもたちと一緒に読書の時間を少しでも作っていただけたらと思います。

⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)

家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)

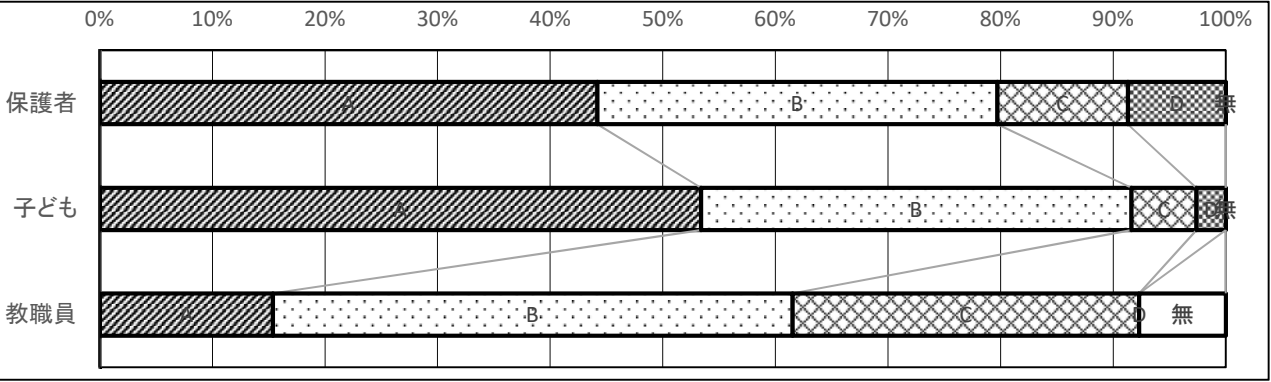
家で宿題や復習などができている。(教職員)



昨年度の前期と比べると，児童と教職員の評価が下回っています。特に教職員は，家庭学習が十分にできていないと感じているようです。「丁寧にやりきる」姿に双方のずれがあるようです。授業では，友達と話し合いながら新しい考え方を学んでいきます。そのため，授業時間で行う問題数はとても限られています。新しい考えを身に付けるためには類似問題をたくさん解く必要があります。そういう意味で，家庭学習は学力の定着を図る上でとても大きな役割を果たしています。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。(保護者)
次の日の準備をきちんとできている。(児童)

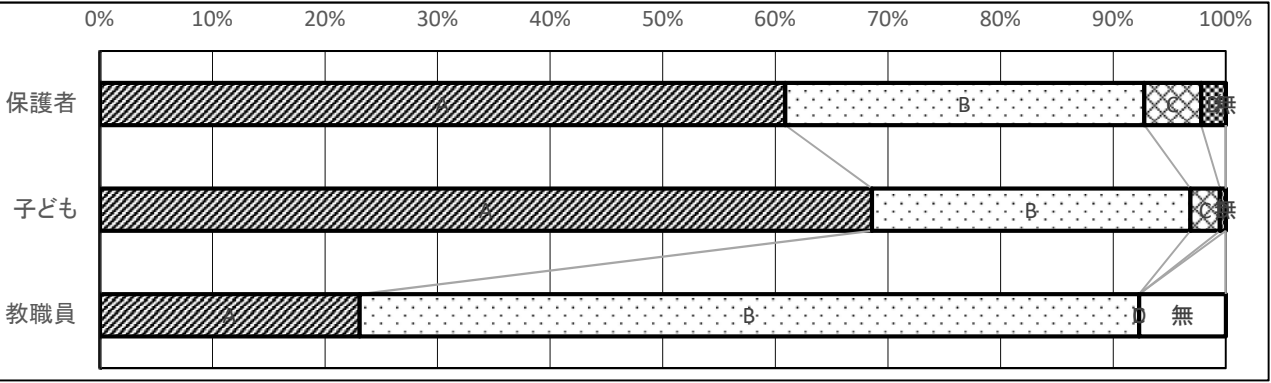
子どもたちは忘れ物をせず，学習の用意ができている。(教職員)



昨年の前期と比べると，児童と教職員の評価が上がっています。多くのご家庭で，学習の準備をしっかりといただいていることがよくわかります。忘れ物があると，学習に支障をきたします。また，自学自習の観点でも自分で予定表を見て，学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。

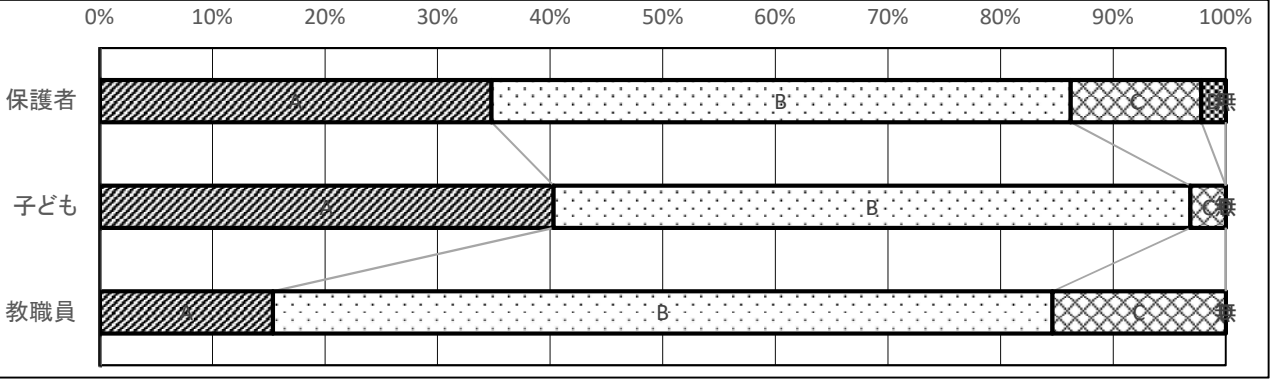
⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。(保護者)
毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは，学校や学級を楽しいと思っている。(教職員)

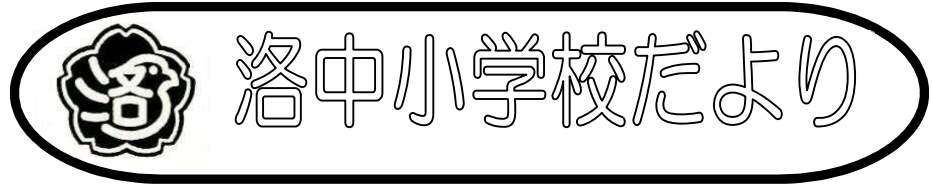


昨年の前期と比べると，児童と教職員の評価が上がっています。特に児童の評価が大きく上昇しています。友達の顔すら見られないという経験をした子どもにとって友達と一緒に過ごせる日常の価値が実感されているのかもしれません。教職員については，日によって登校しにくい子どもがいることが低めの数値に表れていると思います。そんな子どもの気持ちを受け止め，困りを解決していく取組を進めていきます。

⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。(保護者)
学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)
子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)



昨年の前期と比べると，教職員の評価が下がっています。少し気になるのが，廊下を走っている子どもたちが多いということです。学級指導を定期的に行っていますが，なかなか良くなならないことが後期に向けた課題です。約束や決まりを守ることは，落ち着いた学校生活を送る上で，欠かせません。また，将来，社会の規範を遵守する態度につながります。ご家庭でも引き続き，きめ細かいご指導をよろしくお願いいたします。



令和3年度 臨時号②

アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけると、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後とも協力下さい。よろしくお願いいたします。

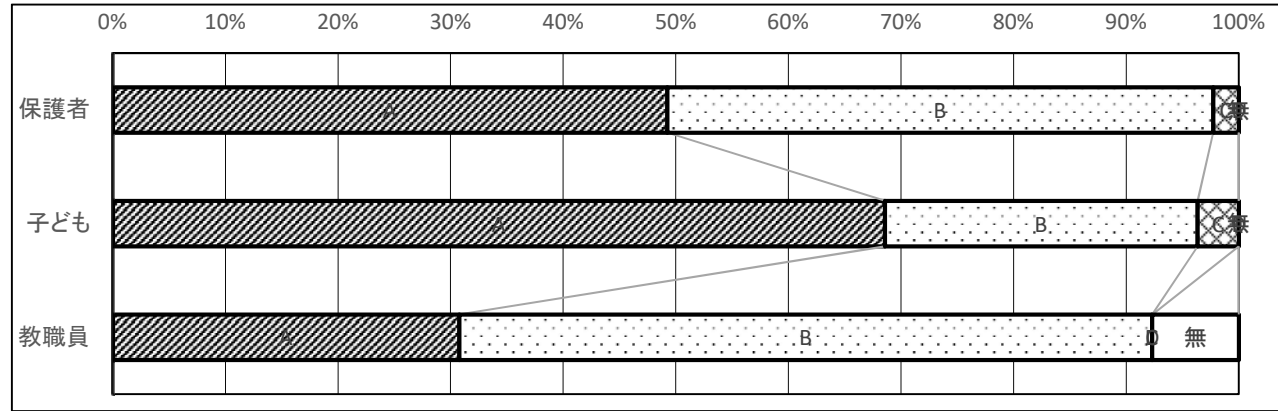


⑨ 子どもは友達に優しくできている。

(保護者)

優しい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)

いじめや仲間外れのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)



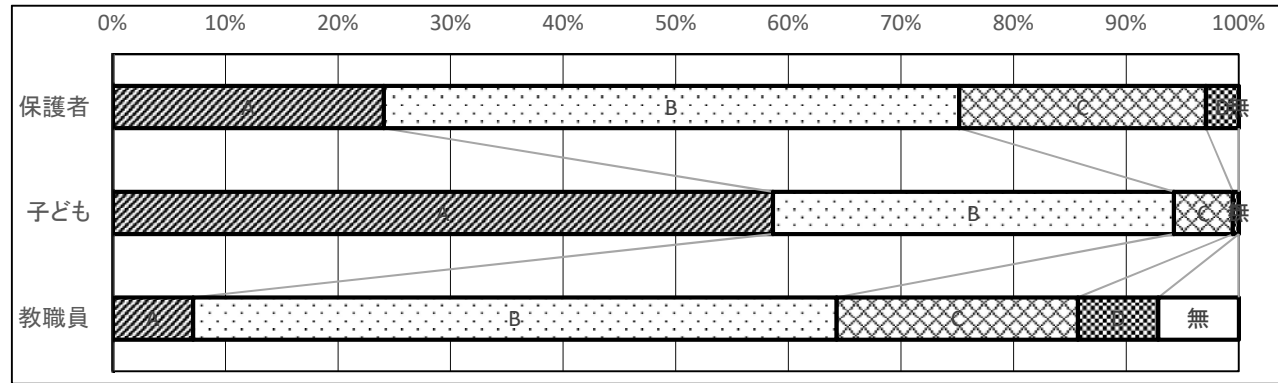
昨年の前期と比べると、教職員の評価が上がっています。本校の子どもたちは、おしなべて心の優しい子が多く、思いやりがあります。今後も子どもたちのこういった良い面を伸ばしていくために、友達の良いところを見つけていくように支援していくとともに、いじめや仲間外れのないクラス作りを継続していきます。

⑩ 子どもは自分からあいさつができている。

(保護者)

友だち、先生、地域の方に自分からあいさつしている。(児童)

子どもたちは元気にあいさつができるようになってきている。(教職員)



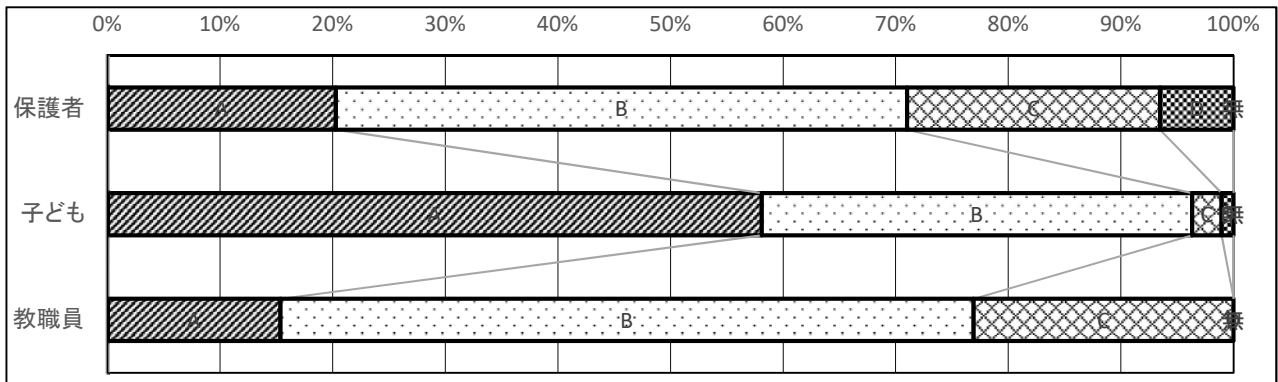
昨年の前期と比べると、児童と教職員の評価が上がっています。子どもたちが生き生きと学校生活を送っていることが反映していると言えます。

ただ、登下校時に気持ちの良い挨拶ができているかという点、なかなか自分からしている姿は少ないです。周りの大人が手本を示しつつ、継続的に指導をしていきます。

⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)

掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)

子どもたちは当番活動や係活動をきちんとしている。(教職員)



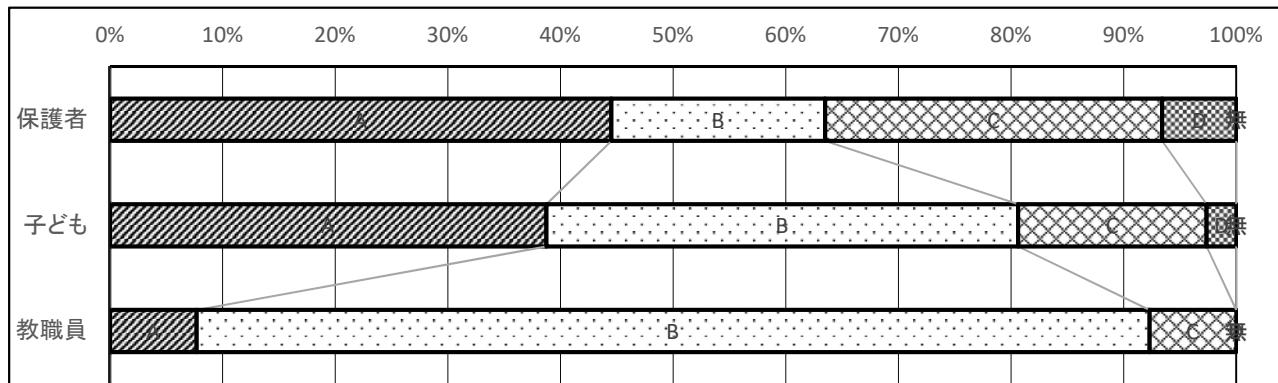
昨年の前期と比べると、保護者の評価が下がり、教職員の評価が上がっています。保護者の評価をみると、約4分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。

家のお手伝いは、家族の一員としての意識を高めるとともに、人のために行動することの心地良さを育てます。タイミングの良い声かけや誉め言葉で、ぜひ子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)

進んで外で体を動かしている。(児童)

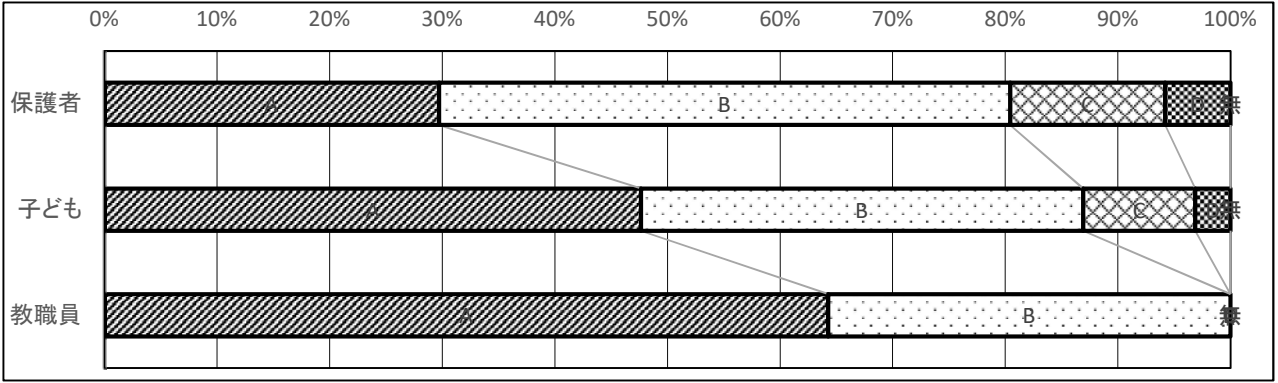
体力向上の取組を進めている。(教職員)



昨年の前期と比べると、児童と保護者の評価が下がっています。これは、コロナ禍でまだまだ運動を制限されていることも影響しています。体育の授業でも、密を避けるために本来の活動ができにくい現状です。

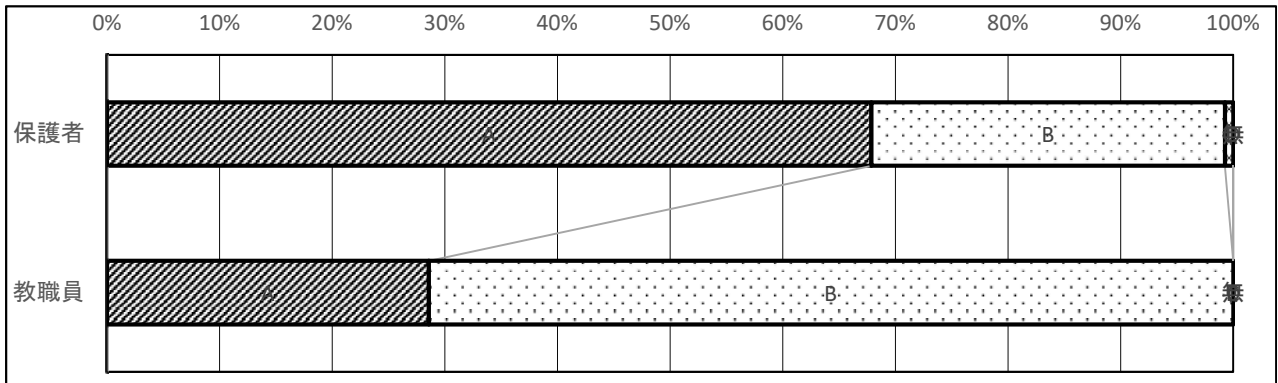
ただ、子どもたちは、休み時間をとても楽しみにしており、元気に運動場で遊ぶ姿をよく見かけます。制限のある中ですが、子どもたちが意欲的に運動できるよう取り組んでいきたいと思います。

⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。
(保護者)
好き嫌いなく楽しく食事をしている。(児童)
給食についての指導が計画的にできている。
(教職員)



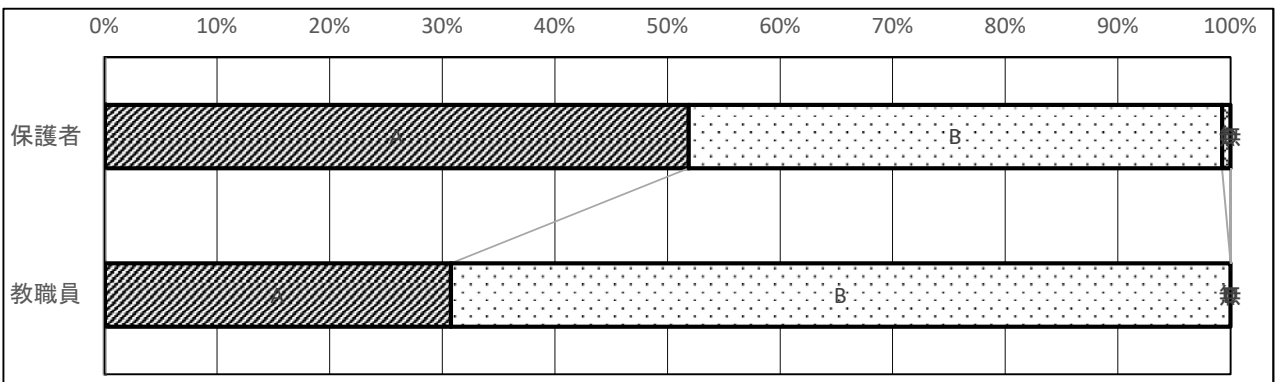
昨年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。給食については、コロナウイルス感染症対策のため、配食や会食について対策を行ってきました。会話をしながら楽しく食べることはできませんが、前を向いて黙食を行うことで、食べることに集中して味わって食べることができました。また、動画や放送、実物を提示することなどして、給食や食について知らせることで、食についての興味・関心を深め、味わって食べられるように取り組んできました。

⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。
(保護者)
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、
気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



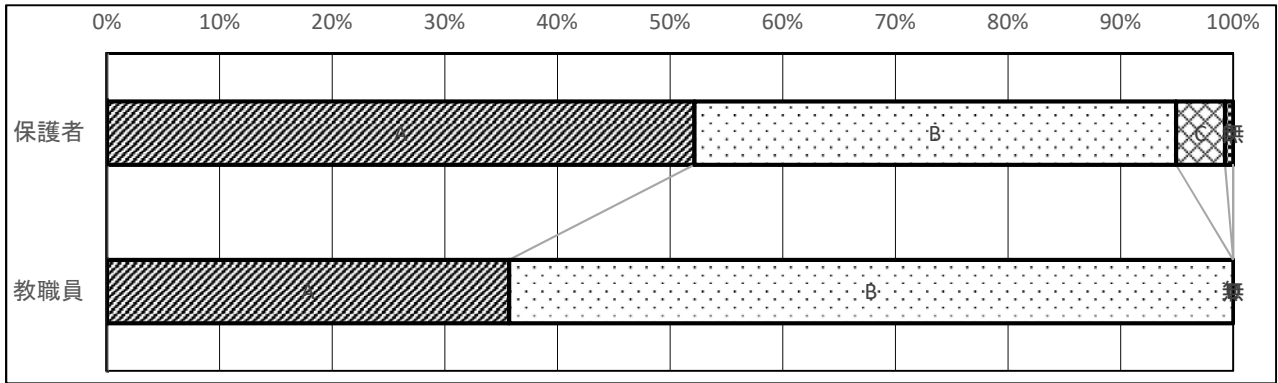
昨年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。ただ、教職員の「A」の評価が低いです。なかなか対面でお話する機会がないですが、子どもたちや保護者が安心して学校生活を営む上でとても大事なところですよ。
今後も、子どもたちの良いところを伸ばし、気になることを共有するためにも、気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいますようお願いいたします。

⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を
育てる活動に取り組んでいる。(保護者)
子どもたちに思いやりのあるやさしい心が
育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



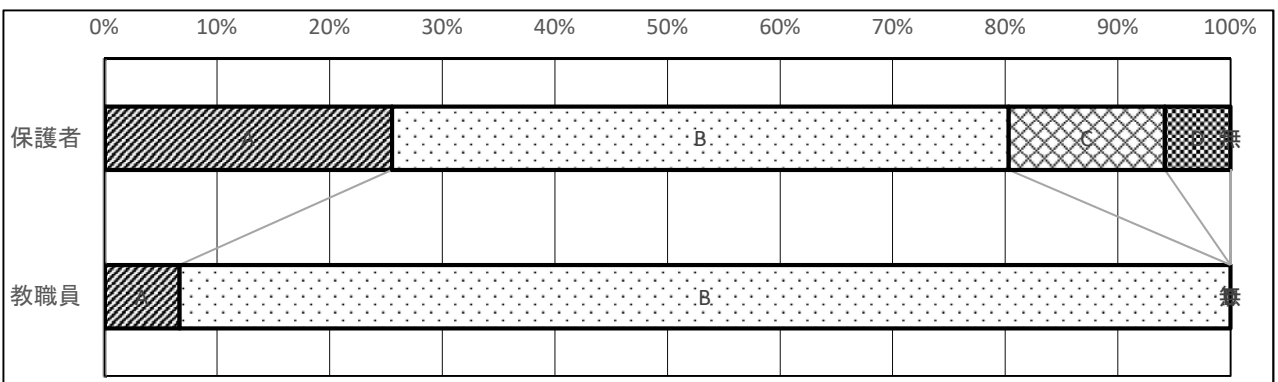
昨年の前期と比べると、教職員の評価が上がっています。学校全体が落ち着いた雰囲気にあるので、子どもたちの本来の心のやさしさが、表に出やすい状態になっていると思います。ただ、細かく見てみると、「実践力」の面で課題が見られました。多くの児童がやさしい気持ちを持っているのですが、いざ実践するとなるとその行動に物足りなさを感じる場面もあります。今後も、子ども一人一人の様子をよく観察し、タイミングの良い声かけ等を行い、実践力を伴う思いやりのある優しい心を育てていきます

⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、
ホームページなどでよくわかる。(保護者)
学校情報の発信ができている。(教職員)



昨年の前期と同様、保護者の評価に比べて、教職員の評価は低く、情報を十分に伝えきれていないと思っています。
伝達的手段としては
ホームページでは、行事や日常の授業の様子など、今後もより一層伝えていきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

⑰ 学校行事やPTA行事等に参加するように
している。(保護者)
様々な取組や行事を通して、学校・家庭・
地域が連携し、子どもの教育にあたっている。
(教職員)



昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。これは、新型コロナの関係で、行事が縮小したことに関係します。
制約の多い中、「地域の子どもは地域で育てる」ということを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。